

# 冬は凍結から水道管を守りましょう



気温が氷点下4度以下になると、水道管が凍り、破裂することがあります。特に次のような場所は注意が必要です。早めに凍結防止の準備をしてください。

- ◆「むき出し」になっている水道管や家の外にある蛇口
- ◆家の北側などで、日の当たらない場所の水道管やメーター
- ◆風当たりの強い場所にある水道管やメーター

## 水道管の凍結を防ぐには ❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️

### ●水抜栓の操作

「水抜栓」による水抜きが効果的です。寝る前や家を留守にする場合、水抜栓を操作し水道管内の水を抜いてください。(水抜栓ハンドルの開閉を中途半端に行くと、水が抜けず凍結や破裂の原因となりますのでご注意ください。)

### ●水道管の保温

むき出しになっている水道管や蛇口の部分に、保温材(発砲スチロール等)、古い毛布、布切れなどでぬれないように巻きつけ、さらにその上からビニールなどを巻いて保温してください。特に寒さの厳しい場所での保温には、電熱ヒーターによる保温をお勧めします。(お近くの町指定給水工事事業者にご相談ください。)

### ●メーターボックス内の保温

細かくした発砲スチロールや布切れをビニール袋に入れたものをメーターのまわりに詰めてください。ただし、メーターの検針に支障の無いようにご協力ください。

## 万一、凍結や破損が起きた場合は ❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️

### ●凍ってしまったら

凍ってしまった部分に、タオルや布などをかぶせて、その上からゆっくり「ぬるま湯」をかけてください。なお、蛇口を開けてもすぐに水が出ない場合がありますが、そのような場合でも、蛇口は開けたままにせず、必ず閉め、自然に溶けるのを待ってください。  
※熱湯を急にかけると、水道管や蛇口が破裂することがありますので、十分注意してください。

### ●破裂してしまったら

メーターボックスの中にあるバルブを閉めてください。破裂した部分に布かテープをしっかりと巻き付け、応急処置をしてから、すぐに町指定給水装置工事事業者に修理を依頼してください。

水道管乙止水栓の先の水道管等の設備の修理代及び漏水した分の水道使用料金は、お客様のご負担になりますので、早めに凍結防止対策をお願いします。

なお、修理費用は工事内容により異なりますので、詳しくは修理を依頼される町指定給水装置工事事業者にご確認ください。また、漏水内容により水道使用料が一部減免になりますので、上下水道課へご相談ください。

12〜1月分の水道使用料金の検針は、平成27年1月10日から20日までの期間に、受託者(公益社団法人矢吹町シルバー人材センター)がお客様のお宅に訪問し、検針を行います。降雪の際には、メーターボックス周辺の除雪のご協力をお願いいたします。



☎ 上下水道課 ☎ (44) 5152

## ご葬儀、仏事の事なら

全日本葬祭業協同組合連合会(全葬連)認定  
ご葬儀事前相談員のいる当店へお気軽にご相談  
下さい。お電話での相談も承っております。

全葬連のif共済会の加入も取り扱っております。  
1万円の入会金でもしもの時を安心して迎えることが  
できます。詳しくはお気軽にお問い合わせください。



if 安心と信頼の 葬儀全般・慶弔花環・生花  
共済会加盟店 供物・盆提灯・仏壇仏具

有限会社 ひらが

矢吹町本町213 ☎42-4151 FAX 42-4157

風ひかる丘 ひらが齋苑

矢吹町井戸尻222 ☎・FAX 42-4711

## 私のひと言



矢吹町長  
野崎吉郎

「今年を振り返って」

目を覚ますと冷気が一瞬にして体を覆う。戸外も寝室もどちらも寒く、以前の様に布団をパッと跳ねのけるのが出来ない。戸外に出、雪化粧された那須の山々を遠望しながら、残り少なくなってきた1年を振り返る。思えば、今年も多難な年だった。想像を絶する自然の脅威を今年もまざまざと思い知らされた。それは、2月の大雪に始まった。今、矢吹町に暮らす全ての人の記憶にも、記録にもない大雪は、その後の巨大災害を予感させるのに十分であった。

姉妹都市三鷹市では、30cm以上の積もった降雹の被害に見舞われた。極めつけは、多くの人命を奪った8月の広島市の土砂災害と、追いうちをかけるかのような9月の御嶽山の噴火だ。これら災害を防ぐ手立て、または予知することは、結果的に出来たものではある。専門家、識者もいた。しかし、大災害を被った今では遅きに失した。当然も、また、いつ何時災難が降り掛かるか分からない。

い。他人事では決してない。一方、町の事業、イベントは順調に事が進んだ。中でも、「矢吹町・三鷹市姉妹市町締結50周年記念式典」と「復興感謝祭」が、盛大に開催出来たことは、何よりも有難かった。清原三鷹市長始め多くの三鷹市の幹部の皆さんと固い握手と共に、百周年に向けた永続的な両市町の交流を誓わせたことが出来、感無量であった。また、課題が多いことも事実。特に、今年の冒頭に災害復旧、そして復興について、次の項目にのべて頂いた。町の皆さんにさせて頂いた。まずは、1000ヶ所にも及んだ災害復旧を約束の3月末までの3年間で必ず終らせること。

二つには、町なか、殊に中心市街地の復興を実感出来るよう、形あるものを皆さんにお見せすること。

三つには、除染を加速させること。

四つには、防災体制の再構築を促すこと。

併せて、まちづくり総合計画の着実な実施を図ることなどを声を話し、皆さんに誓わせて頂いた。その進捗状況の概要を報告したい。

はじめに、災害の復旧については、最後まで手を焼いた農地・農業施設の復旧も、ほんの一部を除いて完了することになった。農家の苛立ちの約

東の時期までに復旧を果たすことが出来たことにまずは安心。

町なかの復興については、実に多くの声を頂いた。商工会・商店主、東大生研・東農大の先生、学生、さらに中心市街地復興協議会を中心に小学生・中学生・高校生を含む多くの住民の皆さんが、「復興まちづくり」について、話し合ってもらった。これほど話し合ってきたのが本当に必要だったのかと判断に悩んだが、今となればこの4年の月日は、誠に貴重な時間であったと心から思う。

計画にある、道路の形状や防災公園の整備の具体的な工程は、まだ、議論の余地を残しているが、既に1区自治会館 52戸の災害公営住宅、そして屋内外運動場の建設について、工事に着手、または年内に着手の手筈が整ったことを皆さんに報告できることを嬉しく思う。

厄介な除染についても、平成27年度内の全町内完了を目指し、作業を急いでいる。町では、比較的線量の高い町西側地域を最優先に順次除染を実施し、既に、田内・柿之内地区の面的除染は終了した。現在、4区・井戸尻・堰の上地区の除染を進めている。併せて、JR東北線を境に、西側地区の1区・2区西・3区西・八幡・花咲地区の全家庭の詳細線量調査をほぼ終え

区東・3区東・5区・6地区、さらには、中畑地区の全家庭の線量調査を実施中である。早ければ、12月からは3神地区の線量調査も実施したい。

防災体制再構築の作業も、既順調に推移している。耐震性飲料水兼貯水槽の設置については、先月11月までに一基を文化センター駐車場北側に、もう一基を矢吹小学校グラウンド南側の地中に埋設し終えた。この後は、三神・中畑地区の整備を進めていきたい。

備蓄倉庫の整備も年度内完了を目指して現在、文化センター南側の一角に急ピッチで建設中だ。震災時の反省を踏まえ、万一の備えとして、応急資材、機材、食料等を備蓄しておくことが出来ることになる。また、震災時はもとより、震災以前から皆さんに指摘を受けていた、屋外・屋内行政無線の整備も今年度から始まった。手始めに、今年度は難聴地域解消の為に、屋内デジタル受信ラジオ1000台の無償配布を実施することとした。年を追って、順次、台数の補完を図りながら、計画的に整備を図りたい。

この他にも、復興計画に網羅されている内容は多岐に亘る。出来るだけ早い時期に、皆さんの安全・安心の確保を図ることを重ねて約束する。

結びに、矢吹町の人々は、今年も多くの場面で光り輝いた年だった。

文化・スポーツ面の小中学生の頑張りと、光南高校生も活躍した。また、大人の人々も力を出し切った。野球・ゴルフ・ソフトボール・駅伝の市町村対抗試合等での好成績は見事だった。特に今年初めて開催されたソフトボール大会では、第3位の輝かしい成績を残した。そして、つい先日まで開催されていた「あゆみ祭り」も秋を彩って頂いた。明るさと元氣、喜びと感動をあらがとう。

千葉麻美選手の中での日本陸上選手権大会での力走も、忘れることは出来ない。

DeNAベイスターズ中畑監督の統括も決まった。来年も後援会として応援出来る。何より嬉しい。

お二人はもとより、町民全員の来年の更なる活躍を心から願う。

いよいよ、平成26年も間もなく終わる。今年度は、繰り返すが、今年度は、復興を実感できる年にしたい。来年は、もう一度、今年度と並行して、早急な復興を願う。今年最後のひと言とする。良い正月を。